

# 泉区ボランティアネットワーク 通信

## 泉区民ふれあいまつり

第10回泉区民ふれあいまつりが例年通り11月3日  
晴れの特異日に、厚い雲がかかるとな行われました。

8時に会場に着くと、3池、4池とも準備でにぎわい  
9時半までに、お店が始められる様にと大いそがし…。1  
時間も経つと、あちこちからいい匂いがして、いよいよお  
祭りが始まるんだと、ワクワクして来ました。

気がつくとも長い列が出来ている処もあり、今年もにぎ  
やかになる予感です。9時半にスタートしましたが、雲  
っていることもあり出足は静かでしたが、10時をすぎ  
る頃には、どのお店もお客さんで一杯。天候も時々薄日  
が差すようになりました。

ボラネットのテントでも“ゆで玉子”、“コーヒー”、“煎  
り落花生”を販売しましたが、学生ボランティアの2人  
が元気に大きな声で「ゆで玉子いかがですか。」と頑張っ  
てくれて、11時半には、売り切れ完売することが出来ま  
した。

一方、広場ではステージで発表しているグループをそ  
れぞれ好きな物を買って来て食べながら、楽しんでいる親子や友達同士が手拍子をしたり、口ず  
さんだりして思い思い楽しんでいました。「毎年来るの、楽しみにしているの。」と話す方も。

今年も無事に終えられた事にホッとするとともに感謝して来年も頑張りたいと思います。

(中嶋 光代)



ボラネットのテント



## 第11回 ボランティアフォーラムのお知らせ

・日時：令和2年3月7日（土）13：00～16：00

・会場：泉ふれあいホーム

・内容：ボランティアグループ活動発表……①音楽スペースおとむすび

②団塊世代バンド J&B

③カーブス横浜いずみ中央

④泉・朗読と語りの会

体験・展示コーナ — ……………①おもちゃの病院ドクトルベアーズ

②いずみ布おもちゃぐるーぷ

③泉区保育ボランティアグループ・マミー

④泉区赤十字防災ボランティア QQ の会

⑤音声訳ボランティア いずみ

⑥泉区 PC 友の会

⑦淹れたてコーヒー、お菓子

## 部 会 報 告

### ～ 障がい者支援部会交流会 ～

2019年10月18日午後、泉ふれあいホーム多目的研修室で、部会8団体中4団体（泉・朗読と語りの会、音声訳ボランティア いずみ、いずみ寺子屋、おとむすび）の9名、個人ボランティア3名、中嶋会長、添田監事、並びに泉区社協佐橋次長、中田職員、宮森職員の17名の参加を得て開催しました。



交流会の様子

冒頭、佐橋次長及び中嶋会長の挨拶に続いて、2019年度ボラネット事業計画・予算等の概要説明後、主題に入りました。

①2019年度部会役員選出については、現役員の部会長金川一之[ボラネット会計兼務](個人ボランティア)、副部会長歌川優子[音声訳ボランティア いずみ]、委員小嶋正(個人ボランティア)三氏の三役の留任が決定された。

②勉強会「DAISY(アクセシブルなデジタル情報システム)」については、「音声訳ボランティア いずみ」を講師に行われた。

DAISYは、パソコンや光文字認識装置を用いて、デジタル図書の作成と利用が可能なシステムで、必要な人々にマルチメディアデータや単純な音声データとして提供するものです。DAISY図書は、視覚障害者だけでなく、学習障害、知的障害、文字を読みづらくなった高齢者などに対応する情報技術で、その概要をプロジェクターによるデモンストレーションと技術説明を勉強会として実施した。

尚、「音声訳ボランティア いずみ」は、視覚障害者等に対する音声訳の著作権フリーな団体として文化庁より認定されており、著作権に準拠したすべての図書を音声訳することが可能です。グループでは、常時作業依頼を受け付けています。

③各グループ活動紹介と意見交換が行われた。各グループは、活発に活動されていますが、担い手であるボランティア自身の高齢化による減少や、支援を必要とされている人々が見つけ難くなっている等の意見も出て、従来型のボランティア活動の縮小傾向は否めないようだ。

併せて、拡大写本れんげの会は、平成31年3月末に、担い手の高齢化により活動を終了したことが報告された。有意義な交流会は約2時間で終了しました。(金川 一之)

### ～ 高齢者支援部会交流会～

高齢者支援部会を令和元年10月31日(木)10:00～11:30いずみ中央地域ケアプラザ多目的ホールにて行いました。

当初、テーマ「スリーAで元気に頑張ろう」講師を田村加代子氏(NPO法人認知症予防スリーAよこはまかたつむりの会理事長)に依頼しておりましたが、ご本人が怪我をされ、出席がかないませんでした。

会を交流会に変更し、皆様に呼びかけましたが出席者が少なく、42団体中7団体11名の参加でした。それぞれ団体の活動紹介、何年続いている、会費などの有無、活動するにあたってのなやみ、楽しみを話し合いました。障がい者支援部会に最近入会された“おとむすび”の方がご自身の活動を紹介され、懐かしい歌やおなじみの歌を歌いましょうとチラシを渡してくれました。尚、今回のお菓子は栗饅頭、飯田八日会が作りました。

\*スリーAとは、『明るく』『頭を使って』『あきらめない』がモットーの認知症予防プログラムです。とてもお忙しい田村先生、来年の10月14日に予約しました。来年の話をする……ですが、来年をご期待下さい。(山内 道子)



交流会の様子

# 横浜市社会福祉功労者表彰

当ネットワーク会員の方々が、第40回横浜市社会福祉大会において、長年にわたる活動に対して功労賞等を表彰されました。

## ◎横浜市社会福祉・保健医療功労者表彰

### ●ボランティア活動功労

- ・泉・朗読と語りの会
- ・いずみ寺小屋
- ・泉区子育てサロン運営委員会
- ・いずみ布おもちゃぐるーぷ

### ●永年勤続・活動功労ボランティア

- ・船越 みさ子〔25年以上民生委員勤続〕

## ◎横浜市社会福祉協議会会長感謝

### ●ボランティア活動

- ・おやこのいばしょタンタン

## 第9回 親と子のコンサート

9月23日(祝)、泉区ボランティアネットワークとジュニアボランティア新橋の共催で第9回親と子のコンサートを開催しました。

泉区役所の後援、泉区主任児童委員連絡会や泉区更生保護女性会、泉区社会福祉協議会のご協力をいただきました。

今年は、泉公会堂の改修工事のため、会場を泉区民文化センターテアトルフォンテに移して行いました。

定員380席と例年より少なかったのですが、2階席まで利用して満席の状況でした。

ジュニアボランティアとして、上飯田中学校の生徒さんがチケット販売やもぎり(切符係)、場内案内や場外案内で、ベビーカーで来場の方に声をかけて、階段の上までベビーカーを運んだりスタッフとして、活躍してくれました。

初めに、泉区ボランティアネットワーク中嶋代表の挨拶の後、『メロディクレール』のデュエットで、こどもたちのよく知っている「犬のおまわりさん」や「森のくまさん」、手遊び歌、「フニクリフニクラ」など楽しい歌ばかりでした。

次は、『パーカッショングループ リトルサニー』の演奏。「さんぼ」や「アンパンマンメドレー」で会場は盛り上がりしていました。

最後はコラボレーション。「ぼよよん行進曲」ではお子さんをリフトしたり、「パプリカ」では皆さん一緒に歌いながら踊ってとても楽しんでくれました。

ホールの外には布おもちゃぐるーぷから借りた布おもちゃやミニカー、新幹線おもちゃ等用意して、飽きてしまったこどもたちの遊び場を準備していましたが、途中の利用はなく開演前や後に立ち寄って遊んでいました。

来年は回を重ねて10回目なので、親と子のコンサートをより一層盛り上げていきたいと思っています。ぜひご参加をお願い致します。

(船越 みさ子)



コンサートの様子



## 第33回泉区社会福祉大会のお知らせ

- ・日時：令和2年2月28日(金)13:00~14:45
- ・会場：泉区民文化センター テアトルフォンテ
- ・表彰式典：①社会福祉功労者表彰
  - ・ボランティア活動功労者
  - ・福祉団体自主活動功労者
  - ・金品寄贈功労者
  - ・賛助会費協力自治会・町内会
- ②共同募金協力者表彰
- ・アトラクション：スティールドラム演奏



昨年の様子

### ==== 編 集 後 記 =====

■年末になると話題になるのが新語・流行語大賞。今年話題になった言葉に贈られる「現代用語の基礎知識選」2019 ユーキャン大賞が12月2日発表された。年間大賞にはラグビー・ワールドカップで活躍した日本代表のスローガン「ONE TEAM」が選出された。特別賞には「後悔などあろうはずがありません」。なおトップテンに選ばれた主なものは「計画運休」「軽減税率」「タピる」、平成が30年と113日続いた、「令和」や「免許返納」「スマイリングシンデレラ/しぶこ」など。どたばたオリンピック、台風被害、政治の低迷で明け暮れた令和は元年。せめて「ボラネット通信」は楽しく、期待される情報紙でありたい。この1年、いろいろお世話になりました。

■一つのことにより毎日集中して考えていると、不思議と必要な情報が寄ってくることもある。テアトルフォンテの情報コーナーで偶然にもパッと目に入ったのが「踊場猫蛮戯画」と「ネコ・ネコ・アザラク」というチラシポスター。赤い鳥居の真ん中に黒猫の顔が大きくイラストされている印象的なデザイン。11月9日の公演は面白く、見ごたえがあった。

実は中田地区には古くから「ねこと踊場」の民話が有名である。その現代版とも言うべき「おたまとねこの玉」が5月に完成、「民話を通して地域の活性化」を目指す活動が始まったところである。そのプロジェクトの名称が「和黄猫舞山委員会」という。この1週間ほどで新聞の書評欄で続けざまに「家のネコと野生のネコ」「猫脳がわかる！」の2冊の本が紹介されていた。ついでに4年ぶりに「大佛次郎記念館」にも行ってきたが、ここも猫（本や猫のコレクション）だらけだった。

(宮田 貞夫)

#### ●泉区ボランティアネットワークへの問い合わせ・加入申込み●

泉区ボランティアセンター（泉区和泉中央南5-4-13 泉区社会福祉協議会内）

電話：045-802-2150 FAX：045-804-6042

E mail：izumiku01@yokohamashakyo.jp

泉区ボランティアネットワークHP：http://network.shakyo-iy.or.jp/

FB：https://www.facebook.com/izumivnw/

#### 編集委員

発行責任者：中嶋光代 広報委員長：宮田貞夫

広報委員：歌川優子、江尻哲二、金川一之、山内道子、泉区ボランティアセンター